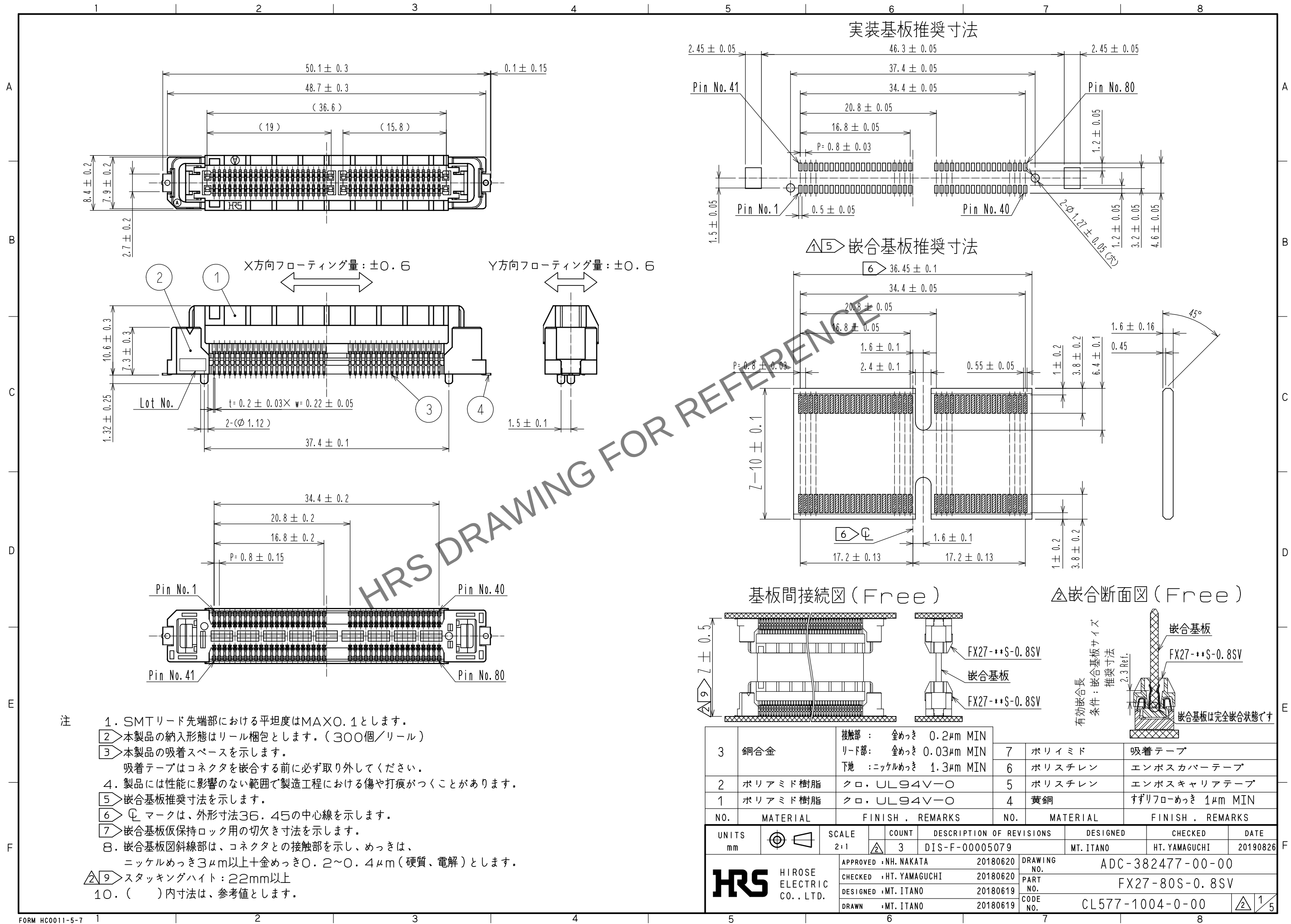


Apr. 1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。



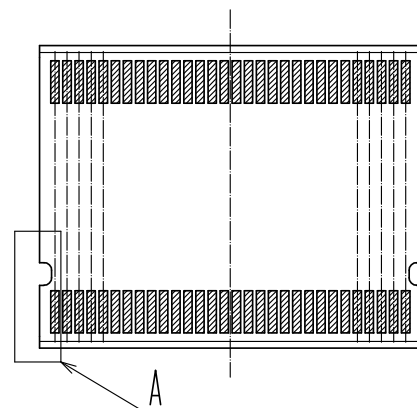
8

Apr. 1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

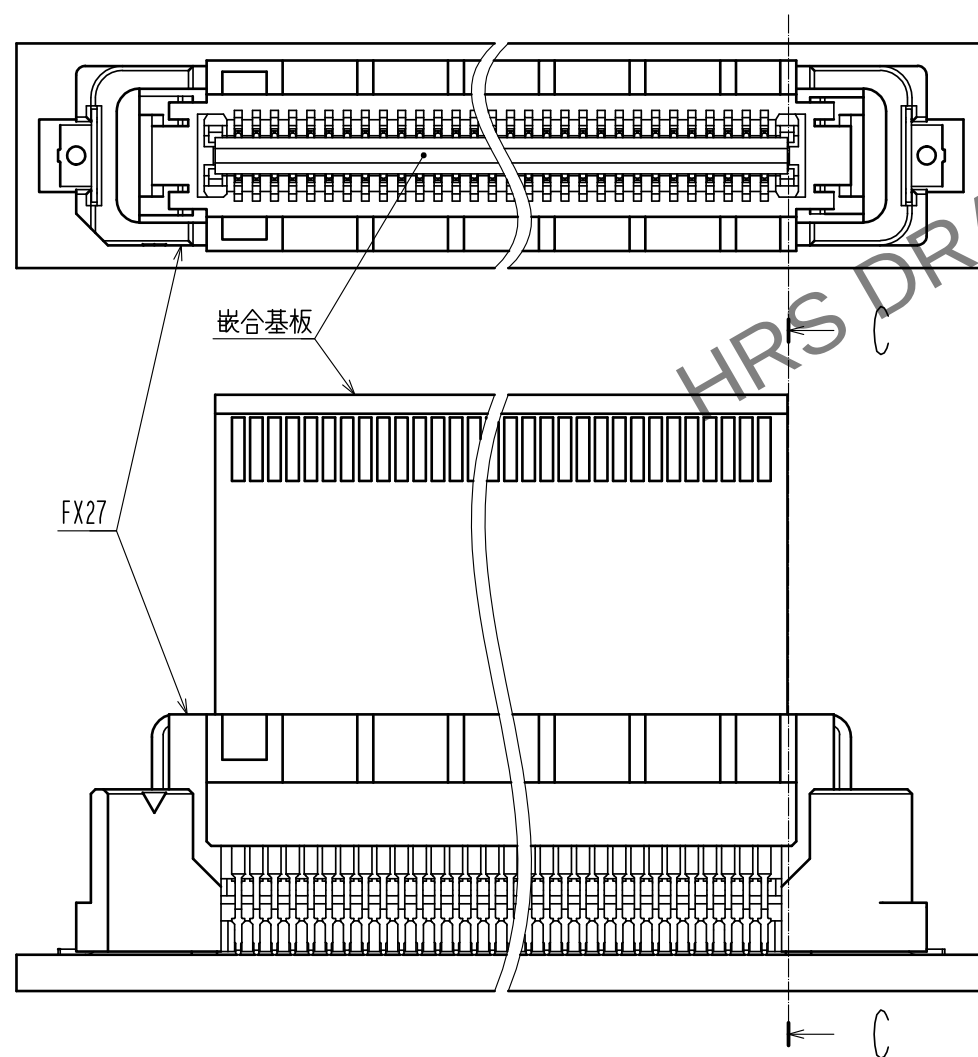
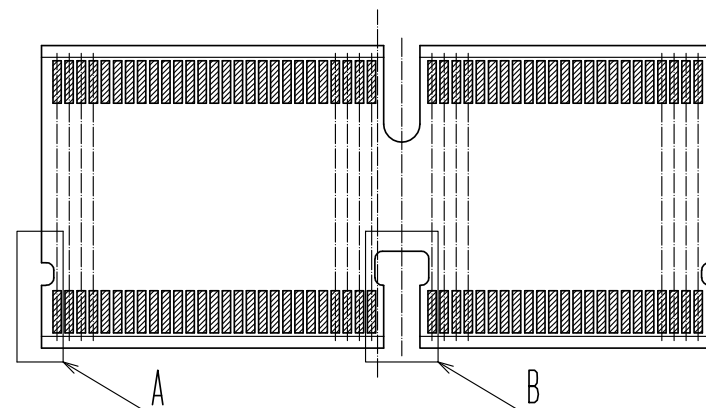
△7 初期挿抜における簡易ロックについて (Free)

嵌合相手である中継基板に切り欠きを設けることにより、
コネクタのロック部に掛かる構造となっております。

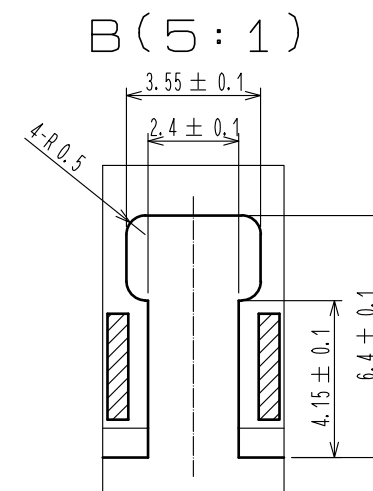
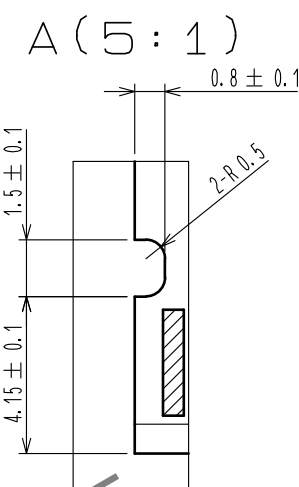
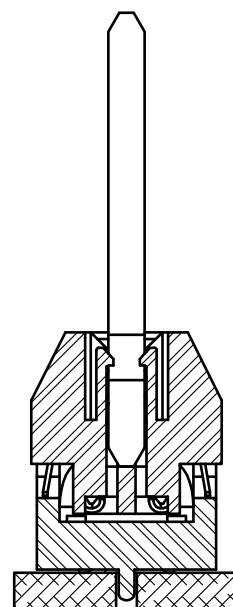
40芯, 60芯 嵌合基板



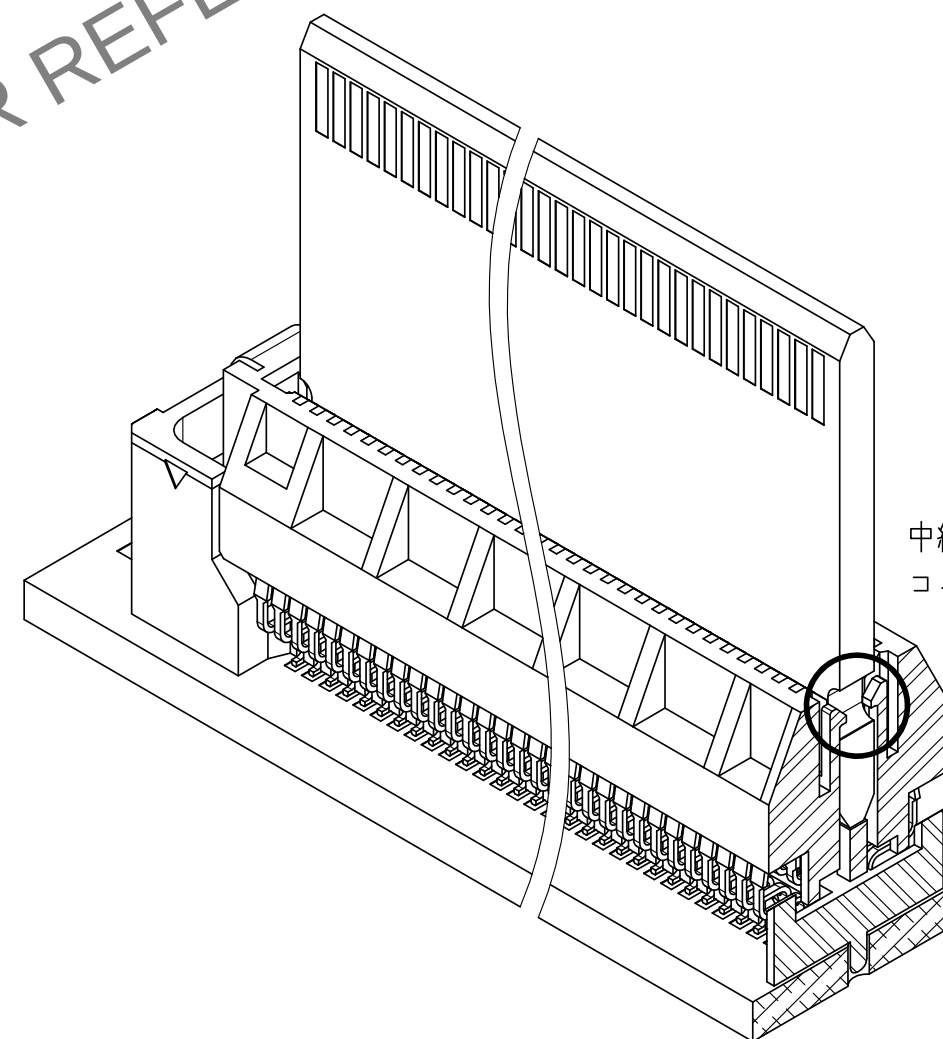
80芯, 100芯, 120芯 嵌合基板



C—C



引っ掛かり部構造図



中継基板の切り欠きに
コネクタのロック部が掛かります。

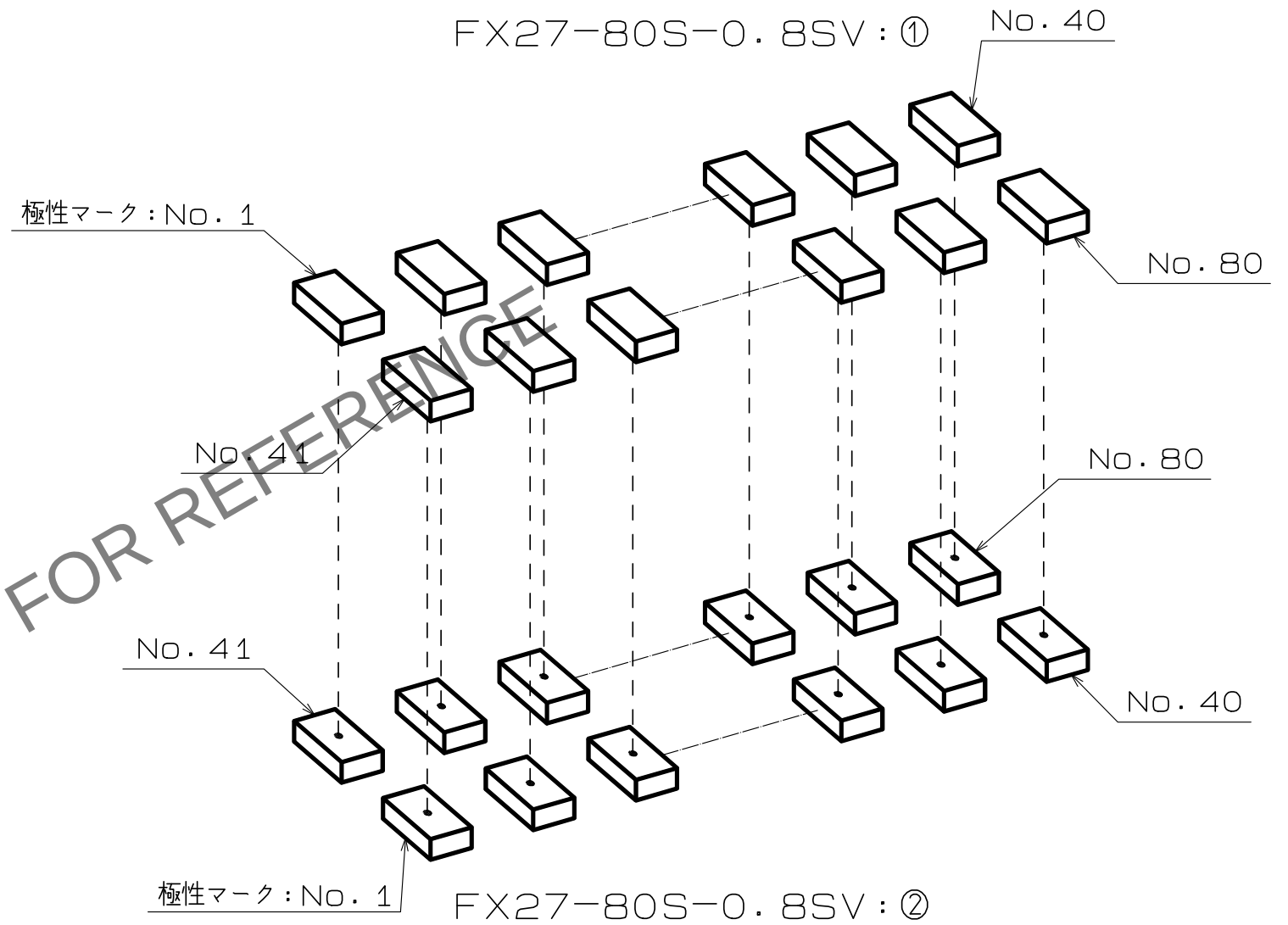
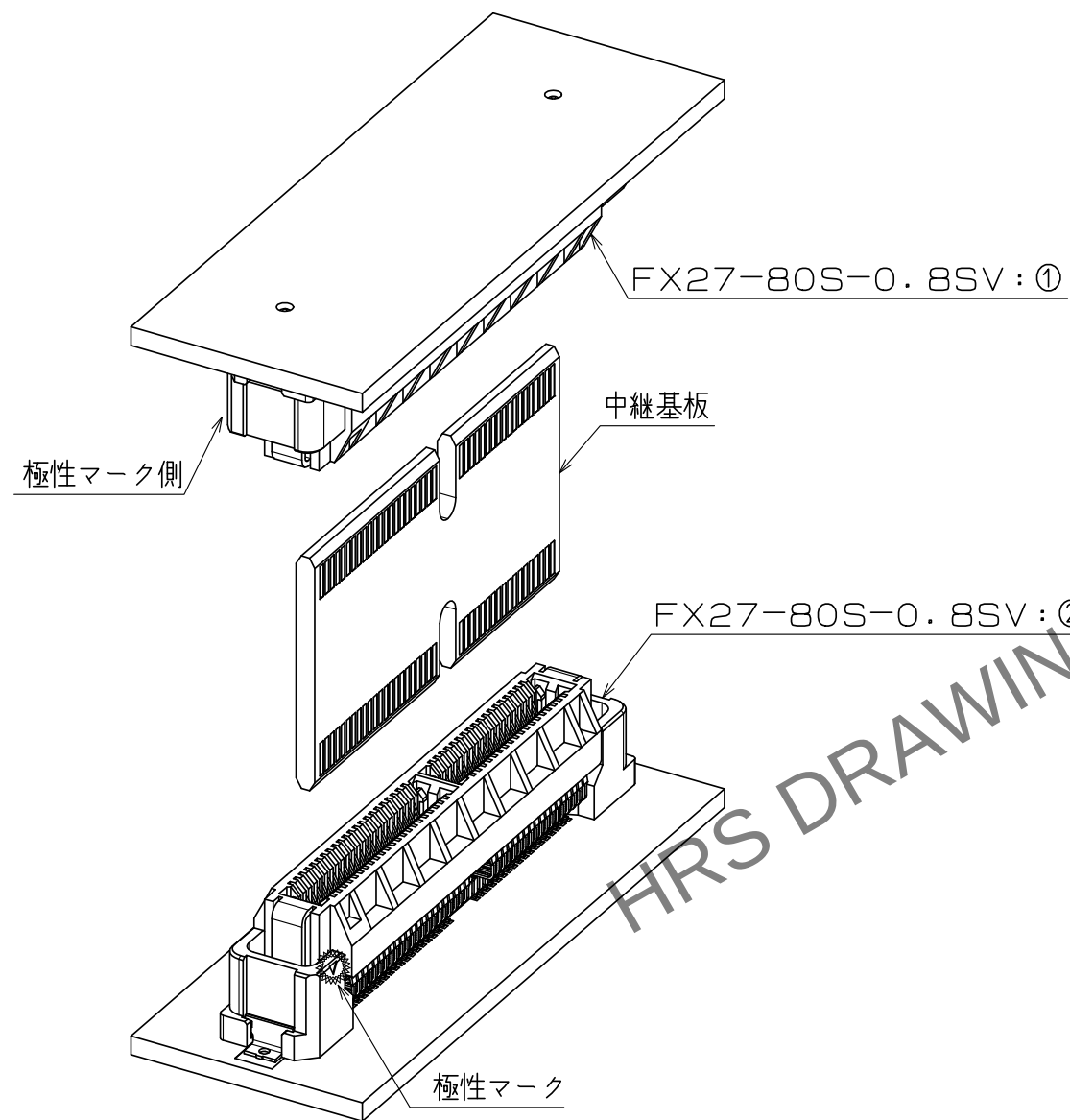
HRS

DRAWING NO.	ADC-382477-00-00
PART NO.	FX27-80S-0.8SV
CODE NO.	CL577-1004-0-00

2/3/5

Apr. 1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

△ピンアサインについて



左図のような使用方法でコネクタをカン合させた場合、
①と②のFX27-80S-0.8SV極性マークが反転致します。
基板回路のピンアサインにご注意願います。

HRS

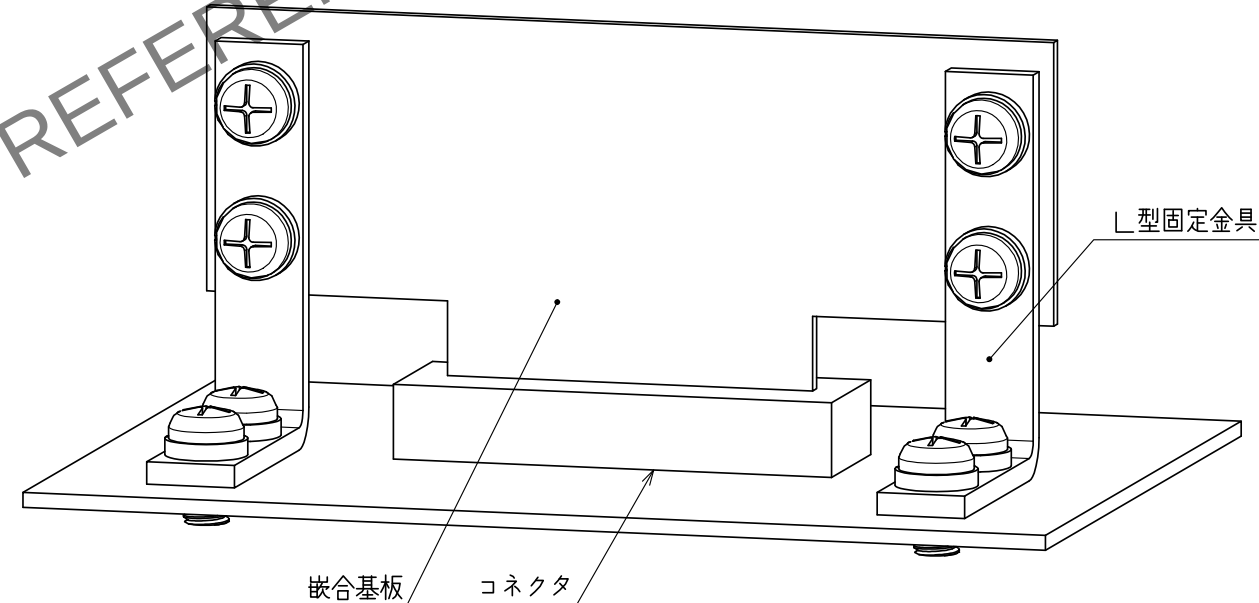
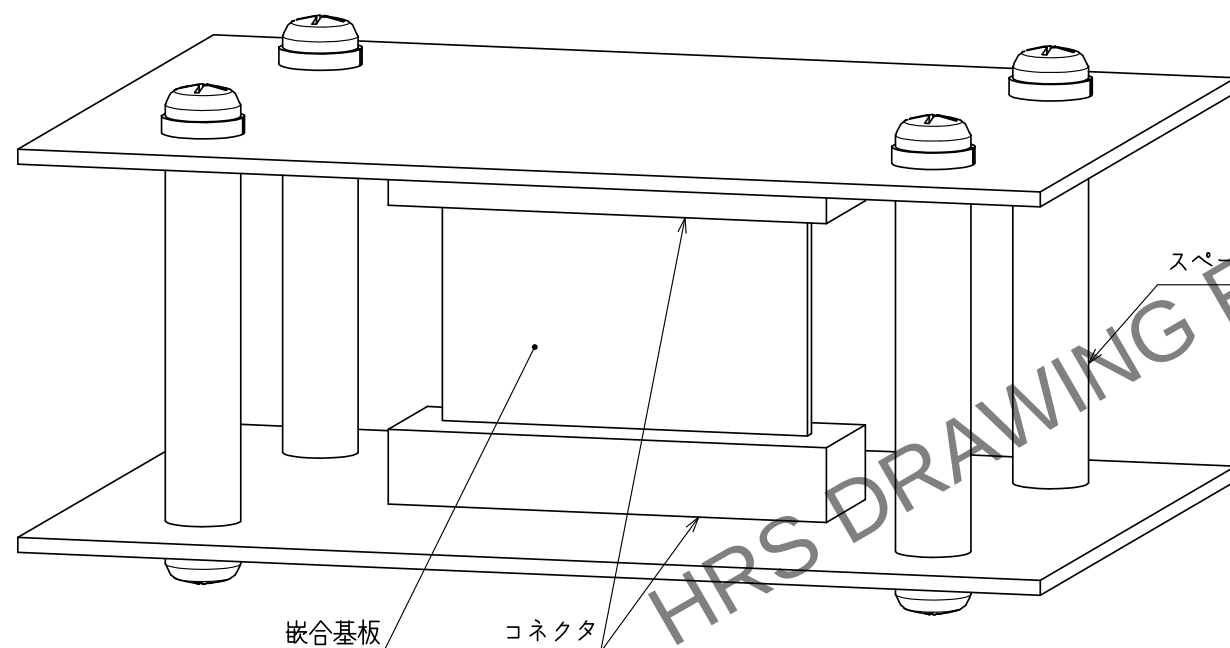
DRAWING NO.	ADC-382477-00-00
PART NO.	FX27-80S-0.8SV
CODE NO.	CL577-1004-0-00

2/4/5

△基板固定について

本コネクタのフローティング機構は位置ズレを吸収することを目的としたものであり、振動や衝撃を吸収する機能は有しておりません。
固定対策を行わずコネクタのみで基板を支えた場合、コネクタに過度の負荷がかかりコネクタの破損や接触不良の原因となる恐れがあります。
必ず下図のようにコネクタ以外で基板が動かなように基板固定対策を行ってください。

なお、スペーサーをコネクタから離れた位置に設置する場合、スペーサーをねじ止めするのみでは基板のたわみ等が影響し、
コネクタが完全に嵌合されない可能性がございます。
コネクタを確実に嵌合させた後に、スペーサーを固定するようにして下さい。



HRS

DRAWING NO.	ADC-382477-00-00
PART NO.	FX27-80S-0.8SV
CODE NO.	CL577-1004-0-00

2/5